

# CHIKARA KISHIMOTO RECITAL

第37回

## 岸本 力 Bass バス・リサイタル



ピアノ  
村上弦一郎

バンドネオン  
北村 聡

朗読  
森山 太



Modest 1839-1881 Mussorgsky & The Soviet Songs

### ムソルグスキーとソヴィエト歌謡の世界

#### I ムソルグスキー作品

小さな星よ、おまえはどこに？  
木の葉は悲しげにざわめいていた  
あなたがたにとって  
愛の言葉が何でしょう？  
お腹の白いお喋り鳥

ピアノ・ソロ  
田舎にて

#### II ソヴィエト歌謡

道 A.ノヴィコフ作曲  
ひとりぼっちのアコーディオン  
B.モクローソフ作曲  
バンドネオン・ソロ  
鶴 Ya.フレンケリ作曲  
ロシアの野原 Ya.フレンケリ作曲

#### III ムソルグスキー作曲 歌曲集 「死の歌と踊り」全曲

1. 子守歌
2. セレナード
3. トレパック
4. 司令官

2024年 9月24日 火 14:00開演  
13:30開場

東京文化会館 小ホール

JR上野駅  
公園口

入場料[全自由席] 一般 4,000円 学生 3,000円

チケット取り扱い  
5/17(金)10:00発売

二期会チケットセンター  
東京文化会館チケットサービス

TEL.03-3796-1831  
TEL.03-5685-0650

後援 日本・ロシア音楽家協会 / 二期会ロシア歌曲研究会 / 二期会ロシア東欧オペラ研究会 / 公益財団法人東京二期会  
マネジメント 公益財団法人東京二期会 お問い合わせ 二期会チケットセンター TEL.03-3796-1831

# 岸本 力 バス・リサイタル

## ムソルグスキーとソヴィエト歌謡の世界

Chikara Kishimoto Bass Recital

Mussorgsky &amp; The Soviet Songs

昨年、第36回リサイタルを無事に開催することが出来ました。皆様に改めて感謝申し上げます。

二年を過ぎてもロシアによるウクライナへの悲惨な軍事侵攻は益々激しくなり先が見えません。何と悲しい事でしょうか。しかし、私はロシアの歌を愛し、歌い続けたいと願っています。

今回のリサイタルは「ムソルグスキーとソヴィエト歌謡の世界」と題しておおくりします。

私は、ムソルグスキー(1839-1881)の作品には、祖国への愛と政治に対する抵抗を感じます。

また、ロシア人の心の優しさと哀愁にあふれた「ソヴィエト歌謡」に私の血は騒ぎます。

後半の『死の歌と踊り』はムソルグスキー晩年の作品で、死神と人間の葛藤をテーマにした、私の大好きな歌曲集です。

今回もピアノに村上弦一郎氏、バンドネオンに北村聡氏、朗読に森山太氏を迎え、ロシアの魂を歌います。

どうぞロシアの歌の魅力をお楽しみください。

岸本 力

Modest  
Mussorgsky

## 岸本 力 バス

KISHIMOTO Chikara

東京藝術大学卒業、同大学院修了。

1973年、日本フィル「第九」、大阪フィル「森の歌」でデビュー。

1976年文化庁派遣芸術家在外研修員としてイタリア、オーストリアに留学。1977年ローマ・サンタ・チェチーリア・アカデミー修了。第41回日本音楽コンクール第1位、第17回海外派遣コンクール特別賞、第5回チャイコフスキー国際コンクールで最優秀歌唱賞。ジュネーブ国際コンクール銀賞。ヴィオッティ国際コンクール銀賞を受賞。

NHK-TV・ラジオなどに出演する他に、《第九》《森の歌》などのバス・ソロ、1984年「ショスタコーヴィチ歌曲の夕べ」のリサイタルでは第39回文化庁芸術祭で優秀賞受賞。オペラでは《ボリス・ゴドゥノフ》、《夢遊病の女》、《魔笛》、《青ひげ公》、《セヴィリアの理髪師》、《モーツァルトとサリエリ》、《コシ・ファン・トゥッテ》、《フィガロの結婚》、《後宮からの誘拐》、《ドン・カルロ》、《シモン・ポッカネグラ》、《ペレアスとメリザンド》、《ムツェンスク郡のマクベス夫人》、《修道院での結婚》、《シンデレラ》、《修禅寺物語》、《乙女の塔》等、主役級で数多く出演。1992年ショスタコーヴィチ作曲《交響曲第14番》「死者の歌」(秋山和慶指揮/東響)にバス・ソロで出演。

1993年にはタン・ドゥン作曲《オーケストラ・シアターⅡ：Re》(岩城宏之指揮/東響)の世界初演に出演し話題を呼んだ。2001年キング・インターナショナルより『つかれた太陽—岸本力・ロシア民謡集』をリリース。2003年、2004年、2006年と日本フィルとの「ロシア民謡コンサート」に出演し成功をおさめた。ロシア音楽をライフワークとしており、日本屈指のバス歌手であると同時に、未知の歌曲群の紹介やロシア歌曲集の編集など、ロシア音楽の第一人者として活躍を続けている。

2010年12月「永年にわたり、ロシア芸術歌曲や民謡を中心に優れた演奏をし、我が国におけるロシア音楽の普及・振興に多大な貢献をした」として文化庁長官表彰賞受賞。2012年2月、ロシア文化振興への貢献を讃え日本人歌手として初めてのプーシキン・メダル(ロシア文化勲章)を受章。2012年「プーシキン・メダル受章記念リサイタル」を開催。2012年11月茨木市民栄誉賞受賞。2015年よりロシア声楽コンクール主宰。2022年には「第35回 岸本力 バス・リサイタル—デビュー50周年記念」を開催し、大盛況のもと、これまでの活動に称賛を得た。武蔵野音楽大学非常勤講師。元桐朋学園大学大学院特任教授。日本音楽コンクール、静岡国際オペラコンクール、チェコ音楽コンクール、学生音楽コンクール等の各審査員歴任。日本・ロシア音楽家協会副会長。日本演奏連盟会員。二期会会員。二期会ロシア歌曲研究会及び二期会ロシア東欧オペラ研究会代表。

## ピアノ

### 村上弦一郎

MURAKAMI Gen-ichiro

1971年、第40回 NHK 毎日音楽コンクール第一位を得、翌年ショパン協会の主催でデビュー。1973年桐朋学園大学卒業後、ルーマニアのブカレスト音楽院へ留学。各国のコンクールで上位入賞。1978年にはチャイコフスキー国際コンクールでファイナルディプロマを獲得している。

国内、ヨーロッパ各地で、リサイタルをはじめ、室内楽、各オーケストラとの共演、放送局での録音、と幅広く活動。

2002年9月には、GEN 室内管弦楽団を結成。2004年には渡欧し、ドイツ・ハイデルベルク公演、コンチエルトの夕べで好評を博した。デュオ・リパッティ国際コンクール(ブカレスト)、日本音楽コンクールを始め数多くのコンクールでの審査員を務める。2000年4月~2001年3月ハイデルベルク大学客員研究員(ドイツ)。2011年8月23日に「村上弦一郎デビュー40周年記念演奏会」(サントリー大ホール)開催。

山口県文化功労賞、岩国市久能賞受賞。

現在、桐朋学園大学特任教授。日本・ロシア音楽家協会副会長。



## バンドネオン

### 北村 聡

KITAMURA Satoshi

関西大学在学中にバンドネオンに出会い小松亮太、フリオ・パネに師事し、世界各国のフェスティバルに出演。

2011年、アストル・ピアソラ五重奏団 元ピアニストパブロ・シーグレルのアジアチームに選抜される。

2014年、東京オペラシティのリサイタルシリーズB→Cに出演。

2021年、ピアソラ作曲「シンフォニア・ブエノスアイレス」の日本初演に参加。これまでに鈴木大介、館野泉、波多野睦美、EGO-WRAPPIN'、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団と共演。NHK「青天を衝け」、映画「マスカレード・ナイト」をはじめ様々な録音に参加している。

喜多直毅カルテット、クアトロシエントスなど数多くの楽団に参加、活動中。



## 朗読

### 森山 太 俳優

MORIYAMA Futoshi

これまでに1000本以上の舞台に出演。

最近では、シンガポールのSingtel Waterfront Theatre 柿落とし『KINGDOMS Apart—The Great War of MAHABHARATA』(CHONG Tze Chien 脚本・演出)に唯一の日本人キャストとして出演。

また、Edith Podesta 脚本・演出/K.Rajagopal 監督『Pompeii』(SIFA2023)、CHONG Tze Chien 演出『OIWA—the ghost of Yotsuya』(SIFA2021/The Straits Times Life! Theatre Awards; Best Ensemble 受賞)に出演し、絶賛を博す。

その他、『夜叉ヶ池』『雨月物語・蛇性の姪』『SEED うえる』、音楽劇『兵士の物語』、日本モーツァルト協会『魔笛』語り手、小澤征爾音楽塾オペラ『カルメン』、オペレッタ『こうもり』フロッシュ役、『ピアノと語りの世界』等、多種多様の舞台に出演。

俳優として活動を続ける一方で、オペラ『椿姫』『蝶々夫人』『マクベス』『カルメン』『イオランタ』等のオペラ演出を手がけその手腕を発揮。

最近では、舞台・映像・CMと、国内外にわたり多方面で活躍中。(株)ダブルフォックス所属。



◀「ヴォルガの舟唄」<https://youtu.be/RBaTKFBe56c>



「黒い瞳」<https://youtu.be/9AYpNKa6Z28> ▶

